Кресту Твоему поклоняемся, Владыко, и святое воскресение Твое славим

小田原·平塚· 修善寺· 柏久保正教会だより
2018年3月1日発行 第187号

КРЕСТЪ
クレスト

2018年3月号

司祭 ディミトリイ 田中 仁一
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1
TEL/FAX：0465-22-2792 携帯 070-5079-3408
E-mail: holyspiritodawara@gmail.com
教団 HP: http://www.orthodoxjapan.jp/
小田原正教会 HP: http://odawara-orthodox.com/
郵便振替口座(小田原): 00270-6-15226

主(しゅ)や光栄(こうえい)は爾(なんじ)に帰(き)し、
光栄(こうえい)は爾(なんじ)に帰(き)す。

福音経読誦前後の附唱

四福音記者
右上から時計まわりに、聖マルコ·聖イオアン·聖ルカ·聖マトフェイ。イコノスタシス中央の扉（王門）にも立てられることの多い四人のイコン。王門は福音の扉である。

●大斎第２週 グリゴリイ・パラマの主日聖体礼儀（第６調）・公祈祷講話⑦
3月4日（日） 10:00～ (9:30 痛悔)
使徒経:エウレイ 318 端(7:26－8:2)
福音経:マルコ 7 端(2:1－12)

●大斎第４週 階梯子者イオアンの主日聖体礼儀（第８調）・月例パニヒダ・定例連絡会
3月18日（日） 10:00～ (9:30 痛悔)
使徒経:エウレイ 314 端(6:13－20)
福音経:マルコ 40 端(9:17－31)

●大斎第５週 エジプトのマリヤの主日聖体礼儀 (第１調)
3月25日（日） 10:00～ (9:30 痛悔)
使徒経:エウレイ 321 半端(9:11－14)
福音経:マルコ 47 端(10:32－45)

公祈祷講話 ⑦
3月4日(日) 13：30-15：00
3月14日(水) 18：00-19：30
※ 両日とも同じ内容です。

聖体礼儀解説(24)　～神の国に飛び立つ心～

福音書の読みは、私たち天上の王国へと導きます。福音書の著者たちは、まさに天上の王国への案内人なのです。私たちも心の襟を正し、しっかりとした足取りで天上の王国に入ろうではありませんか。聖金口イオアンは、次のような注意書きを残しています。『そこは光栄の王がおわすところです。さあ、私たちの意識の扉を大きく開きましょう。畏怖の念をもって耳を傾けるのです。王の間の扉を開いたら、光栄の王に伏拝しましょう。他の事に気をとられて、ざわざわした心でここに入ってはいけません。つねに神妙な心持ちが大切です。なぜなら、ここで読まれるのは、どこかの地上の王様が書いたものではありません。それは、万軍の天使たちの主が書いたものなのです』。

表信者聖マキシモスは、聖体礼儀における「聖福音経の読み」を次のように解釈しています。『*聖福音経の読みは、まさに「全世界において天の王国の福音が宣べられるとき、世の終りがやって来る」という聖書の言葉を明示しています。なぜなら、「聖福音経の読み」の後、真の司祭首が天の王座から降って来られるからです。それゆえ、ここから先のことは、神の神聖なる奥義を見ることを許された人々、つまり信者以外は、本来遠ざけられるのです。それはまた、最後の審判のさきがけでもあります。天の王国の食卓に「親しく与る」のは、天国の味わい、信者の永遠の喜びの味わいだからです。*』

最近の出来事・消息

小田原・平塚　**主の迎接祭・亜使徒聖ニコライ祭**　2月15日（水）・16日（木）で行われました。主の迎接祭は、聖シメオンという人が、幼子イイススをその腕に抱いたという出来事を記憶して祝います。聖シメオンは主イイスス ハリストスが降誕する約 240 年前に旧約聖書をギリシャ語に翻訳していた 70 人のうちの 1 人でした。翻訳の途中、「乙女が子を宿す」という預言の言葉を翻訳する際「乙女」はあり得ないだろうから「女」に訂正しようとしたところ、天使が現れ「訂正してはならない。あなたはそのことが成就するまで死ぬことはないだろう。」と告げられました。こうして聖シメオンは2世紀半も生きながらえ、ついに宮詣にきた童貞女マリヤが産んだ幼子イイススを腕に抱いて、預言の成就を知りました。この時の有名な聖神抱者シメオンの祈りが次の言葉です。「主宰や、今爾の言に循い爾の僕を安然として逝かしめ給う 蓋我が目は爾の萬民の前に備えし救を見たり、是れ異邦人を照すの光と爾がイズライリ民の榮なり。（主よ、今あなたは、このしもべをお告げ通り安らかに去らせてくださいます。私の目があなたが備えて下さった救いを見たからです…）」聖体礼儀の最後には日本に正教を伝えた聖ニコライを記憶して感謝祈祷が行われました。聖体礼儀には 11 名が参祷しました。

乾酪の主日・赦罪の晩課　2月18日（日） 大齋準備期間の最後となる乾酪の主日聖体礼儀が行われました。ご聖体を頂く前に司祭より「人を赦すことは簡単ではない、しかし諦めないことが大事。これから頂くご聖体が人を赦すための佑けとなりますように」と話がありました。月例パニヒダを終え、午後 3 時より、赦罪の晩課が行われ、聖堂内のランパータも青に変えられました。

柏久保　**聖体礼儀・聖歌研修**　2 月 10 日（土）10時より、横浜教会よりグリゴリイ水野 宏神父様をお迎えし、断肉の主日聖体礼儀を行いました。聖体礼儀には水野神父様が共に聖歌を歌ってくださり、実践の中で力づけられる貴重な機会となりました。続けて信徒会館にて聖歌研修を行いました。トロパリの中から、馴染んでおくとよい調のメロディーをご紹介いただきました。それらのメロディーを覚えることで、聖体礼儀の中で歌われる聖歌も歌えるようになり、更には祭のトロパリまで歌うことができました。その後昼食とともに歓談の時間を持ちました。

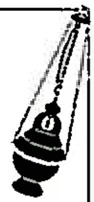
修善寺　**聖体礼儀・聖歌研修**　2 月 11 日（日）10時より、横浜教会よりグリゴリイ水野 宏神父様をお迎えし、断肉の主日聖体礼儀を行いました。聖体礼儀には水野神父様も管轄司祭と陪祷し、1 月の聖体礼儀に続いて大変豊かな時間を頂きました。昼食後、聖歌研修を行いました。トロパリの中から、馴染んでおくとよい調のメロディーをご紹介いただき、柏久保教会と同じく祭のトロパリも歌うことができました。またよく耳にする八調について、その八の意味をはじめ、聖体礼儀の聖歌について詳しく教えていただきました。

永遠の記憶　**イオアン 樋口邦夫兄（小田原）**　1月31日に永眠され、2月2日（金）に、ご自宅にて埋葬式を行いました。永遠の記憶をお祈り申し上げます。

永遠の記憶　**シメオン 小杉英男兄（小田原）**　2月19日に永眠され、21日（水）22日（木）に、ご本人が設計された小田原の現聖堂でパニヒダ・埋葬式をいました。永遠の記憶をお祈り申し上げます。

お知らせ

平塚 **復活祭前墓地祈祷**



3月21日(祝) 10時から

10時に平塚市営墓地の方は現地に集合します。その後、昨年と同じルートで廻ります。全ての墓地祈祷を行った後、渡辺万千子姉宅にて昼食をとり、解散します。

小田原・平塚 **復活祭たまごとケーキのご注文受付開始**

卵(1個) 40円　　ケーキ(1個) 200円

ご注文はマリーナ日比野恵美子姉（電話 0465-34-5020）　まで

締切： 4月1日（日）

※当日も販売しますが、数に限りがありますのでご了承ください。ご予約をお勧めします。かご付きのたまごセットも僅かですが販売します。
詳しくはお電話にてお問い合わせ下さい。

主日の痛悔機密を受けるにあたっての変更事項（再掲）

痛悔は、9時20分からの時間が修了した後は、神品領聖のあとにも行っています。これまでは、副輔祭やマトシカが神品領聖後の痛悔を希望するかを祈祷中に個別にお伺いしてきましたが、2月より、ご希望する方から痛悔希望の旨を副輔祭やマトシカにお伝えください。（遠慮なくお伝えください。）

献金報告　　2/20現在　日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏　　名	摘　　要
1/28	渡辺 万千子姉	パニヒダ献金
	山口　敏之兄	パニヒダ献金
2/4	高橋　達哉兄	降誕祭献金

日付	氏　　名	摘　　要
2/4	樋口　喜久江姉	感謝献金
2/18	野村　知恵子姉	パニヒダ献金
	神谷 幸夫 副輔祭	パニヒダ献金

婦人会献金：

日付	氏　　名	摘　　要
2/18	山口　敏之兄	感謝献金

小田原ハリストス正教会2018年聖大週間・復活祭祈祷予定

（公表されている祈祷のみ掲載。それ以外の時間も祈祷が行われている場合があります。）

※３月の大斎祈祷スケジュールについて２月号をご覧ください。ただし、３月２日の祈祷予定は私祈祷により中止になりましたのでご連絡します。

◆聖枝祭週間

4/1【日】(10時)　　十二大祭　聖枝祭（花の主日）・聖堂おみがき

※この日は成聖された花が参祷者に配布されます。花はご家庭の祭壇に次の復活祭が来るまで、飾ります。古い枝花や、祭壇に合わせて切り落とした枝花は人の踏まないところに帰すか又は焼却します。祈祷後、聖堂おみがきを行います。主に燭台やランパータをきれいにします。近頃、聖堂おみがきの人手が不足しています！ご協力をお願い致します。

◆聖大週間（受難週間）

4/2【月】(10：00)　　Matins / Hours / Presanctified　早課・時課・晩課・先備聖体礼儀

4/4【水】(10：00)　　Matins / Hours / Presanctified　早課・時課・晩課・先備聖体礼儀

4/5【木】(9-13：00)　　卵染め・ケーキ包装　※ぜひご参加下さい！
(15-17：30)　　聖大金曜早課（十二福音/Twelve Gospels）

※聖大金曜日早課では四福音に記述される全ての主の受難が詠まれます。聖書をお持ち下さい。
In Matins, we have reading of twelve Gospels of the Passion. Please bring your own New Testament book.

4/6【金】(10-11：30)　　葬りの晩課　(Lamentation)
(15-17：30)　　聖大土曜早課（主の葬り）

※聖大土曜日は、主が十字架から降ろされる場面を「葬りの晩課」で、そこから墓まで移され、墓の入口が閉ざされるまでの場面を「早課」で行います。聖堂の中央には大十字架が。祈りの中で主イイススのイコンが降ろされます。復活祭の明るさと対極のような祈祷が、主の復活の意味をより強く考えさせられます。

4/7【土】(10:00-12：00)　　聖大土曜晩課・生神女福音祭（晩課・聖大ワシリイ聖体礼儀）
(14：00-15：00)　　復活祭準備　※男性の手を必要としています。ご協力、よろしくお願い致します。

◆復活祭

4/8【日】(9：30-)　　復活祭（夜半課・十字行・早課・聖体礼儀）・祝賀会

【2018年3月】小田原・平塚ハリストス正教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	主日調/聖書の読み
1	木	[東京　神学校]	3/4　第6調 使徒経：エウレイ1:10ー2:3 福音経：マル2:1ー12 ●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
2	金	[終日　私祈祷]	
3	土	主日前晩祷(17:00)	
4	日	大斎2　グリゴリイ・パラマの主日聖体礼儀(10:00)/公祈祷講話⑦(13:00)	
5	月		
6	火		3/11　第7調 使徒経：エウ4:14ー5:6 福音経：マル8:34ー9:1 ●昼食はありません
7	水	大斎祈祷　午前は早課～先備聖体礼儀(10:00)	
8	木	[東京　神学校]	
9	金	[伊豆　公祈祷講話]	
10	土	[伊豆　公祈祷講話]	
11	日	大斎3　十字架叩拝の主日代式祈祷・清掃(10:00)[伊豆]	
12	月	[伊豆]	3/18　第8調 使徒経：エウ6:13—20 福音経：マル9：17ー31 ●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう ●糖飯当番：神谷智子姉
13	火		
14	水	公祈祷講話⑦(18:00)	
15	木	[東京　神学校]	
16	金	大斎祈祷　午前は早課～先備聖体礼儀(10:00/15:00)	
17	土	主日前晩祷(17:00)	
18	日	大斎4　階梯者イオアンの主日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00)/定例連絡(13:00)	
19	月	[終日　私祈祷]	3/25　第1調 使徒経：エウ9:11ー14 福音経：マル10:32ー45 ●昼食はありません
20	火		
21	水	平塚　復活祭前墓地祈祷(10:00)	
22	木	[東京　神学校]	
23	金	大斎祈祷　午前は早課～先備聖体礼儀(10:00/15:00)	
24	土	主日前晩祷(17:00)	
25	日	大斎5 エジプトのマリヤの主日聖体礼儀(10:00)	
26	月		
27	火		
28	水	大斎祈祷　早課～先備聖体礼儀(10:00) [午後　東京　理事会]	
29	木	[午後　東京　神学校]	
30	金		
31	土	聖枝祭前晩祷(17:00)	

＊[　　　]内は司祭の活動＊

＊聖体礼儀に参祷し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう＊

＊ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。＊

3月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
13日	司祭ペトル	假野　成章	1916年	假野　美枝
3日	ハリティナ	平山　ちょう	2003年	平山　京子
5日	ハリティナ	廣石　ハナ	2002年	廣石　真太郎
7日	マリナ	澁谷　ノブ	1936年	澁谷　道子
9日	アニシヤ	砂澤　えん	1959年	
10日	セルギイ	中島　幹彦	1988年	中島　八千代
11日	ペトル	重田　恒男	1931年	重田　仁
11日	アレキサンドラ	小玉　ヤエ		出口　常智
14日	ニフォント	日比野　實	1963年	日比野　勇
16日	マリナ	神谷　まりな	1940年	神谷　淳一
16日	ユリタ	安達　とみえ	2002年	安達　紀彦
18日	ルキヤ	樋口　貞子	1944年	樋口家
18日	セルギイ	廣石　寿二	2004年	廣石　卓也
19日	ニキタ	中島　愛三	1946年	岡野　康子
19日	ユリヤ	荒井　シノブ	1998年	荒井　讓
22日	リュボフ	假野　愛子	1971年	假野　美枝
22日	ソフィア	山本　シヅ	2010年	山本　やす江
23日	ユリヤ	小杉　クマ	1910年	小杉　悦子
24日	イオシフ	窪田　亮二	1983年	窪田　幸夫

今月は第3週日曜日に永眠者の記憶を祈る「パニヒダ」を行います。聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの霊(たましい)が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。(月例パニヒダの日は必ず会報をご確認ください。)

塗装職人の守護聖人
ヴルラの聖ミハイル

記憶日４月29日/4月16日(旧暦)

小アジアのヴルラ出身の聖ミハイルは、はじめ鍛冶職人として働いていましたが、のちにトルコ人珈琲豆商人の雇われ人になりました。聖ミハイルが塗装職人の守護聖人とされるのは、彼の不朽体を発見したのが塗装職人だったからです。はじめ鍛冶職人だった聖人は、18 歳のとき、あるトルコ人の珈琲豆商人によって無理やり、しかも大斎初週の土曜日にイスラム教徒に改宗させられ、彼の雇い人になりました。復活祭の晩、心に呵責(かしゃく)を憶えた聖ミハイルは、キリスト教徒に混じって参祷しようと教会に行きました。すぐさま彼は捕えられ、宗教裁判所に送られてしまいました。裁判官は甘い言葉と脅しで彼をイスラムの信仰に戻らせようとしましたが、聖人は全く譲らず、そのため投獄されてしまいました。獄吏が何度痛めつけようとも、正教の信仰を貫いた聖人は、遂に死罪を宣告され、1772 年に斬首されました。聖人の遺骸は海に投げ捨てられましたが、敬虔なキリスト教徒の塗装職人が遺骸を引き上げ、聖人の遺骸は、スミルナの聖フォティナ聖堂に丁重に葬られました。

復活祭前金曜日の夜景

正教徒の多い国々では復活祭を迎える前、静けさと、各家庭から漂う復活祭料理のいい匂い、そして教会での熱い祈りが同居する独特な雰囲気に包まれた聖大週間を迎える。金曜日の夜に行われる聖大土曜日早課の祈祷では、眠りの聖像が花で飾られた台に乗せられて、教会を出て街を練り歩く十字行が行われる。世界にある全ての正教会が、形に多少の違いはあるが、こうした聖大週間を過ごす。小田原でも日本各地の教会と同様、小規模ながら行っている。今年の聖大週間は4月2日から始まる。

ナクソス島(ギリシア)